



## 歴史研究所第2期中期計画がスタートします

歴史研究所では、市民や社会にとって、より重要な研究機関として発展していくことを目指し、平成20年度から平成24年度に至る第2期5か年の計画を策定しました。

以下の7点に重点を置き、当初計画に掲げた長期的な基本戦略の実現を引き続き目指します。

- 1 「単位地域」論の方法に立った、飯田・下伊那の地域史に関する基礎研究・基礎共同研究の重視
- 2 市誌編さん活動への本格的な取り組み
- 3 歴史資料(アーカイブズ)の保存・活用システムの構築
- 4 多様な出版活動を安定的に持続・発展させるための基盤整備
- 5 美術博物館や図書館などとの緊密な連携による飯田市の地域史研究事業の総合化
- 6 諸事業活動における、市民との連携・協働と、市民研究者の育成
- 7 研究機関や研究者などとの交流・連携関係と、調査研究など協働の取り組み拡大

事業活動の概要は、以下のとおりです(詳しくは歴史研究所のホームページや「広報いいだ」5月1日号をご覧ください)。

### 1 市誌編さん事業

歴史研究所の調査研究事業の集約の場として、市誌編さん事業を第2期の重点課題とし、史料編さんを中核として位置づけ、計画的かつ着実な刊行の取り組みを行います。

### 2 調査研究事業

#### (1) 史料調査活動

飯田・下伊那の歴史資料に関して、域外を含めて所在状況を悉皆的に調査・把握します。このうちのいくつかについては、拠点型の現状記録調査を実施します。また、歴史的建造物調査・聞き取り調査を継続して進めます。



刊行物



飯田アカデミア

#### (2) 研究活動

##### ① 研究会の開催・運営

地域史研究集会・ラウンドテーブル(円座)・定例研究会などの研究会の開催・運営を行います。

##### ② 『年報』の刊行

地域史研究事業の成果や研究集会の記録、飯田・下伊那をフィールドとした研究論文などを盛り込み、『年報』を毎年刊行します。

### 3 教育事業

歴研ゼミナール・飯田アカデミア・地域史講座などの講座や、学校教育との連携を通じ、調査研究、教育を行う人材の育成を目指します。

### 4 アーカイブズ保存活用事業

市民にとってかけがえのない財産であるという観点から、旧役場文書や学校など公的機関の歴史資料や、市役所の非現用文書など、地域に残るアーカイブズを収集・保存・公開し、市民や研究者が史料を積極的に活用できる体制・環境を整えます。

### 5 その他

#### (1) 情報管理体制の整備

調査研究活動の基礎として、史資料、文献、トピックなどを軸とするファイリングシステムを整備するとともに、収集史料の目録など情報を積極的に公開するよう努めます。

また、美術博物館、図書館など、市の各施設所蔵情報のネットワーク構築に取り組みます。

#### (2) 広報活動

歴史研究所の諸事業を市民に普及し、参加する市民のすそ野を広げるなどのため、歴研ニュース・「広報いいだ」・パンフレット・ホームページなどの媒体を通じての広報活動を充実・強化します。

# 平成20年度の事業概要

今年度計画している各種事業の概要をお知らせします。

## 調査研究活動

### ○基礎共同研究

研究・教育・市誌編さんなど、歴史研究所のあらゆる活動の基礎となる歴史資料について、6つのテーマに基づいた長期的な共同調査を行います。集めたデータは市民の皆さんや研究者の方々が利用しやすいように整備・公開します。

### ○基礎研究

研究員・調査研究員・顧問研究員などが、それぞれの関心に基づいてテーマを設定し、飯田・下伊那の歴史に関する専門研究を行います。研究成果は出版物や研究会など、さまざまな手段を通じて市民の皆さんに還元します。

## 出版活動

### ○『歴史研究所年報』第6号

### ○史料集『飯田・下伊那地域史料叢書』I

### ○『史料で読む』I

## 各種講座等

### ○研究集会

年に1度研究集会を開催し、シンポジウムと地域史研究の成果報告を行います。

### ○飯田アカデミア

第一線で活躍する歴史研究者が研究成果を分かりやすくお話しします。

### ○地域史講座

飯田・下伊那の地域史研究についての最新成果を、歴史研究所スタッフが話しします。

### ○ゼミナール

実践的に歴史を学ぶゼミ形式の歴史講座。受講生が自ら研究を行えるよう基礎力を養います。

### ○定例研究会

研究所のスタッフなどによる研究報告を公開で行い、地域の歴史について皆さんとともに考えます。

### ○地域史惣寄合

各地の地域史を研究する方々とそれぞれの取り組みを報告し、お互いの連携を図ります。

## その他

### ○歴史研究活動に対する助成→詳細は下記

# 「丘の上」単位地域プロジェクトを始めます

現在の中心市街地にあたる旧飯田町と隣接する旧上飯田町(村)は、飯田市域において唯一、町誌や村誌が刊行されていない地域です。1947(昭和22)年の「飯田大火」や社会の変化により、多くの歴史資料が失われましたが、それでも過去の人々の暮らしを解明するための手掛かりは豊富に残っています。歴史研究所では今年度から、これらの地域の「全体史」叙述を目指し、調査研究を重点的にを行います。

具体的には以下のような作業を計画しています。

1 いくつかの史料群を中核に置き、史料読解などの研究会を開きます。

2 地域の史料集や、史料を分かりやすく解説した読み物などを刊行します。

史料調査や学習会を通じて、市民の皆さんと積極的に交流しながら進めていきたいと思っております。よろしくお願ひします。

# 歴史研究活動を助成します

### ○対象とする専門分野 歴史関係全般

### ○応募資格

- ・飯田市内・下伊那郡内に住所を有する個人または団体
- ・大学の卒業論文・修士論文を作成するための研究を行う者

### ○助成金額

- ・市民・郡民および卒業論文 10万円以内
- ・修士論文 年15万円以内(最長2年まで)

### ○申請手続

- ・提出書類 研究計画書
- ・提出期間 2008年6月28日(土)まで

### ○助成の条件

- ・飯田・下伊那地域の素材を用いたオリジナルな歴史研究の成果であること。
- ・新たに得た史料所在情報については、研究所に提供すること。
- ・研究成果の発表を、所定の時期に研究所で行い、併せて研究所の刊行物を通じて公表することを原則とすること。

飯田・下伊那地域を対象とするオリジナルな歴史研究の成果に対して、審査の上助成金を交付します。

### ○審査方法 歴史研究所研究部が行う。

### ○研究論文等の提出

研究論文等完成後、速やかに(2009年2月末日まで)論文等の複製を研究所に提出する。ただし、修士論文について、研究の初年度の場合は、中間報告書を2009年2月末日までに提出する。

### ○助成金の交付

助成金の交付は、助成の条件などに関して必要な審査を行い、交付することが適当と認められたものについて、2009年3月までに行う。

※募集の詳細については、直接お問い合わせいただくか、歴史研究所のホームページをご覧ください。

## 2007年度の助成研究

- ・「飯田市長野原地区の歴史について」(長野原歴史研究会)
- ・「日記記述から史実の検証をどのようにしたらよいか」(座光寺古文書研究会)
- ・「近世の清内路村における若者組の活動」(東京大学文学部日本史学専修4年・坂本広徳)
- ・「伊賀良地区の地名・小字調査」(伊賀良を広める会)

5/31(土)

6/1(日)

第1回

# 地域史惣寄合

## 一地域史の現在一

地域の歴史を振り返り、それに学び、地域市民の生活世界を守り、再建し、新たに構築しようという取り組みが、全国各地で行われています。そうした地域の歴史に関心を寄せる方々が手弁当で集い、地域史が当面する現状について情報を交換し、様子を知り合う機会を持つと考えました。〈円座〉を組んで、それぞれが抱える問題点について認識を共有し、深めあい、かつ課題を探ろう、というのが〈惣寄合〉の目的です。

基調講演には、大山喬平さん(日本中世史、京都大学名誉教授)をお招きします。円座Ⅰでは、市町村による地域史の取り組みの報告を、円座Ⅱでは、県、大学、民間による取り組みの報告を行います。

地域史に関心を寄せる多くの方々のご参加を、心よりお待ちしております。

### 呼びかけ人

大槻守(兵庫県姫路市香寺町史編纂室)

塚田孝(大阪府和泉市史編纂室)

吉田伸之(飯田市歴史研究所)

■開催場所 飯田市りんご庁舎3階会議室

■スケジュール

5月31日(土)午後2時～6時

午後2時～

問題提起 吉田伸之

基調講演 大山喬平(京都大学名誉教授)

「地域史惣寄合への一つの提言

—地域史の方法にふれて—」

午後3時30分～

円座Ⅰ「地域史の現在 1 市町村」

司会 吉田伸之

報告者 金澤雄記(飯田市歴史研究所)、森下徹(和泉市史)、大槻守、辻川敦(尼崎市立地域研究史料館)

6月1日(日)午前9時30分～午後3時30分

午前9時30分～

円座Ⅱ「地域史の現在 2 県、大学、民間」

司会 塚田孝

報告者 木越隆三(金沢城調査研究所)、後藤雅知(千葉県史料研究財団)、青木歳幸(佐賀大学地域学歴史文化研究センター)、小平千文(上田小県近現代史研究会)

午後1時30分～

全体討論 (司会 大槻守、塚田孝、吉田伸之)

## 第5回飯田歴研賞 2008

歴史研究所では、飯田・下伊那の地域史研究における優れた作品を発掘するため、「飯田歴研賞」として、毎年表彰しています。皆さんの推薦により候補となる作品を選出し、審査の結果受賞作品が決まります。自薦他薦は問いません。ぜひ作品を歴史研究所までお送りください。

### 第5回飯田歴研賞(2008年度)募集要項

#### ■対象作品

2007年度(2007年4月～2008年3月)に刊行、発表された著書・論文(自費出版を含む)

#### ■応募締め切り

2008年6月28日(土)

#### ■審査・表彰

歴史研究所研究部で審査を行い、2008年度の研究集会で優秀作品を表彰します。

#### ■応募先・問い合わせ

飯田市歴史研究所

〒395-0002 長野県飯田市上郷飯沼3145

電話 0265-53-4670



著書  
論文

募集

2007年度の授賞式

### 2007年度の受賞作品

#### ■著書部門

伊藤幸子さん『山なみを越えて』(東銀座出版、2006年)

#### ■論文部門

坂口正彦さん「養蚕農協の設立と解体—長野県下伊那地方を事例に—」(『社会経済史学』72巻5号、2007年)

#### ■奨励賞

飯伊婦人文庫『みんなとだから読めた!』(飯伊婦人文庫発行、2007年)

柿野沢区道路委員会『柿野沢における道普請の歩み』(柿野沢区発行、2007年)

# 飯田アカデミア

飯田アカデミアは、大学の専門課程レベルの講座です。毎回歴史学を中心とした専門研究者を講師に、研究の最前線を分かりやすく講義します。

第41講座 4月19日(土)・20日(日) **4**コマ

講師：三浦正幸さん(広島大学教授)

## 巨大で豪華な日本建築の話

■1日目 午後1時30分～5時

### ①安土城と大坂城

奥州藤原氏の中尊寺金色堂、足利義満の金閣をはるかに超えた信長の安土城、壁面を金色の彫刻で埋め尽くした秀吉の大坂城といった、日本史上最高の豪華建築の話。

■2日目 午前10時～午後2時30分

### ②出雲大社と厳島神社

神社本殿で、面積が史上最大の厳島神社、高さが史上最大の出雲大社。厳島神社が建つのは掘って造られた人工の海。かつての出雲大社本殿の高さは8丈(24m)が正しい。

第42講座 5月17日(土) **2**コマ

講師：佐藤次高さん(早稲田大学教授)

## 砂糖のイスラム生活史

■午後1時30分～5時

紀元1世紀頃インドに興った砂糖きびを原料とする製糖業は、東は中国南部を経て沖縄に至り、西はイスラム世界を経てカリブ海諸島に至った。イスラム世界では、7世紀以後イラン・イラク・シリア・エジプト・マグリブ・アンダルシアへと拡大し、12～15世紀にはエジプトが製糖業の中心となった。砂糖(スッカル)は、高価な甘味料としてヨーロッパに輸出され、イスラム世界でも甘味料の他に、胃・肝臓・のどの痛みを和らげる薬として用いられ、さらに断食明けの祭礼やメッカ巡礼の贈り物としても用いられた。講義では、年代記・都市史・地理書・旅行記・薬事書・文学書などアラビア語史料にもとづき、砂糖からみたイスラム生活史の諸相を語ってみたい。



第43講座 6月7日(土)・8日(日) **4**コマ

講師：荒野泰典さん(立教大学教授)

■1日目 午後1時30分～5時

### ①近世の国際関係と脱鎖国論

■2日目 午前10時～午後2時30分

### ②近世日本の世界図と世界観

第44講座 7月19日(土)・20日(日) **3**コマ

講師：上山和雄さん(國學院大学教授)

## 軍隊と銃後活動

■1日目 午後3時～4時30分

■2日目 午前10時～午後2時30分

※講座により講義コマ数が異なります。1コマの講義時間は90分です。

■会場 飯田市りんご庁舎3階会議室(本町1丁目、地域交流センター)

■募集人員 各講座30人

■受講料 1コマ100円(資料代)

■申込み・問い合わせ

歴史研究所(電話 0265-53-4670)

※ながの電子申請サービス(<http://shinsei-e-nagano.lg.jp>)でもお申込みいただけます。

## 地域史講座

シリーズ **みるよむまなぶ** 飯田・下伊那の歴史



歴史研究所では2007年10月に市制70周年事業として『みるよむまなぶ 飯田・下伊那の歴史』を刊行しました。この本を教材として市民の方々に身近な歴史に親しんでいただくために、内容に即した講座を市内各地で開催します。地元の方々の意見交流の場となることを期待します。

### ①5月10日(土)「瀧澤医院と擬洋風建築」

・講師 金澤雄記 研究員

・時間 午後1時30分～

・場所 下久堅自治振興センター集合

・内容 旧瀧澤医院の見学会(事前申込みが必要)

### ②6月28日(土)「水害を被った村」

・講師 清水迪夫 調査研究補助員

※時間、場所は次号でお知らせします。

■申込み・問い合わせ

歴史研究所(電話 0265-53-4670)

## 住友生命「女性研究者への支援」受賞

多和田真理子調査研究員が、住友生命の創業100周年記念事業「未来を築く子育てプロジェクト 女性研究者への支援」※を、2008年度から2年間にわたって受けることになりました。

### 研究題目：「明治期の小学校設置・運営と地域構造」

座光寺村（現飯田市座光寺）を事例に、近代日本における小学校の設置維持の様子を明らかにすることを通して、地域構造の全体的な把握を目指します。

明治時代を対象に①小学校の設置および運営が地域の人々によってどのように担われていたのか、②学校の存在が地域の人々にいかなる影響を与え、地域を変容させていったのか、の2点について、地域史料の整理・調査をもとに検討していきます。

※詳しくは住友生命のホームページをご覧ください。

(<http://www.sumitomolife.co.jp/child/women/>)

## 建築史ゼミナール ゼミ生募集

5月から新たに建築史ゼミを開講します。最初の半年間は、建築物や町並みに親しんでいただくために、参加者に身近なものを含めた関心のある建築物や町並みを紹介してもらい、意見交換を行います。講座日を第2火曜日とし、随時現地見学会を行います。参加者のご希望に添う講座にしたいと思っておりますので、どうぞお気軽にご参加ください。

- 開催日 第2火曜日（初回5月13日）
- 時間 午後7時～8時40分
- 担当 金澤雄記（研究員）
- 場所 歴史研究所研修室



## 歴研ゼミだより

### 2月・3月の内容

参加者の皆さんと一緒に歴史の研究を行い、研究方法を学んでいただくための講座です。

近世史ゼミ 近世下伊那の民衆生活史	近現代史ゼミ 地域社会史入門－飯田町の記憶を探る－	現代史ゼミ 地域社会とグローバリゼーション
<ul style="list-style-type: none"> <li>■開催日 隔週火曜日</li> <li>■時間 午後7時～8時40分</li> <li>■担当 多和田雅保（研究員）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■開催日 隔週木曜日</li> <li>■時間 午後7時～8時40分</li> <li>■担当 田中雅孝（調査研究員）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■開催日 隔週水曜日</li> <li>■時間 午後7時～8時40分</li> <li>■担当 鬼塚博（研究員）</li> </ul>
2月5日 浪士通行に付諸事役歩調 2月19日 松川の水をめぐる下郷村々の訴え 3月4日 田畑不耕作取締申渡 ※近世史ゼミはしばらく休講します。	2月7日 下伊那のミチューリン農法について研究発表 2月21日 宮本常一著『忘れられた日本人』を読む 3月12日 大正13年7月南信新聞を読む	2月6日 南塚信吾著『世界史なんていらない？』読書会2 2月20日 昭和恐慌期の農家負債 3月5日 大江磯吉について 3月19日 飯田下伊那の酒造業について

※各ゼミでは随時受講生を受け入れています。ゼミの日程は6頁催事スケジュールをご覧ください。



## 転居のぞあいさつ

### お世話になりました

（飯田から鎌倉へ移ります）

多和田雅保

準備室の時代からあつという間でした。史料を使った狭義の研究にとどまらず、さまざまな会議の位相の設計、研究カテゴリーの設計、研究所の設備面での設計など、あらゆる面で創造的な作業に参加できました。また現在の地域に根づいて生活していらっしゃる方々との交流を通じて、学界レベルの地域史研究に何が求められているのかをつくづく考えさせられる5年間でした。これらは自分が歴史を学んでいく上でかけがえのない財産ですし、そんな自分は研究者として実に幸せ者だと思っています。

今後は将来の地域の担い手となるべき教員養成を行う、非常に責任の重い立場となりますが、授業でも飯田・下伊那のよいところを積極的に広めるつもりですし、学生を連れてきて、現在の地域のあり様をみせたり、地元の方と深く交流させたりしたいと思います。

### これまで、これからも

多和田真理子

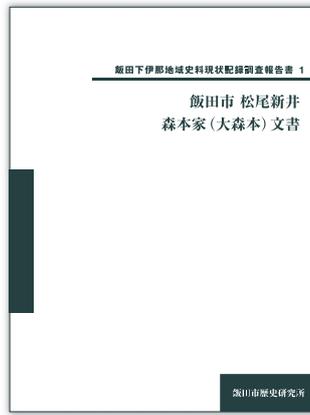
試行錯誤の連続のうちに5年が過ぎてしまったように思いますが、この研究所を創り、発展させてゆく一員として関わることができたのは、とても幸せなことでした。

研究者としての自分が、どのように地域に根ざしてゆけばいいのかと考え込んだこともありました。自らの手で問題関心を広げ、形にしてゆくにはどうすればいいのか。でも結局、もっとも基本的なことこそが大切なのだ気づきました。つまり、皆さんの言葉に素直に耳を傾けること。史料の文字を素直に読み解くこと。そして何より、自分自身の生活を素直に見つめ、地域に根ざしたものにしてゆくこと。気負いを捨てたことで、かえって地域史研究者として成長できた（不遜ながら）感じています。

すばらしい出会いのおかげで、これまで充実した調査研究活動ができました。そしてこれからも、飯田・下伊那地域での調査研究を続けていきます。住友生命から2年間の研究支援も受けることができました。まだまだ未熟ですが、どうぞよろしくお願ひします。



**飯田下伊那地域史料現状記録調査報告書 1**  
『飯田市松尾新井 森本家(大森本) 文書』



**【目次】**

- I 経過と概要
- II 解題
- III 森本家関係文献目録
- IV 史料単位・組織現状記録
- V 史料細胞現状記録
- VI 飯田市立中央図書館所蔵・森本家文書目録
- VII 史料紹介

定価二〇〇〇円  
A四判、並製三七二頁

江戸時代から昭和にかけて松尾村で活躍した豪農、森本家に伝えられた膨大な歴史資料の調査報告書です。松尾地域だけでなく、広く飯田・下伊那の歴史を知るうえできわめて貴重な資料です。史料全点の記録を中心に、解説、史料紹介、関連文献の目録、建造物の解説も収録します。

販売所 歴史研究所、市役所行政資料コーナー  
※詳細はお問い合わせください。

問い合わせ 飯田市歴史研究所  
☎0265-53-4670

**歴研日誌**

2月

- 2日 講座「古代の史料を読む」②
- 5日 近世史ゼミ
- 6日 現代史ゼミ
- 8日 建造物調査(上久堅・本棟造民家)
- 14日 近現代史ゼミ
- 15日 市議会総務文教委員会協議会で中期計画(案)説明
- 15～16日 阿南町新野伝承館・関忠安さん聞き取り
- 16日 地域史講座⑨「満州移民④」／古文書愛好会研修会(多和田雅保研究員、於県立歴史館)
- 18日 住友生命女性研究者支援表彰式
- 19日 近世史ゼミ
- 20日 建造物調査(山本・本棟造民家)／現代史ゼミ
- 25日 中期計画(案)市民意見公募終了
- 26日 調査研究員公募(～3/14)
- 28日 市議会全員協議会に中期計画(案)説明／近現代史ゼミ

3月

- 4日 近世史ゼミ／事務職員公募(～14日)
- 5日 現代史ゼミ
- 6～8日 部奈家文書現状記録調査に東大吉田伸之ゼミ参加
- 7日 まちづくり講演会(町並み事例紹介)
- 8日 歴史研究活動助成発表会
- 9日 街並みハイク／モーニングウォーク
- 13日 現代史ゼミ
- 14日 建造物調査(阿智村・養蚕民家)
- 15～16日 飯田アカデミア第40講座「近代日本思想と東アジア」(講師:米谷匡史さん)
- 18日 建造物調査(高森町・長屋門)
- 19日 現代史ゼミ
- 20～23日 旧南信濃村役場文書調査
- 23日 城下町いいだフォーラム
- 25日 中期計画教育委員会で承認
- 27日 近現代史ゼミ
- 29日 『飯田下伊那地域現状記録調査報告書1 飯田市松尾新井森本家(大森本)文書』発行

- 継続調査 部奈一朗氏所蔵史料、森本家(大森本)史料、北原嘉雄氏所蔵史料、市瀬繁文書、岡田昭夫氏所蔵史料、三穂小学校移管史料、今村和貴氏所蔵史料、飯田市非現用行政文書

**4月・5月の催事スケジュール**

4月	2008	5月
火	1	木
水 現代史ゼミ	2	金
木	3	土
金	4	日
土 『満州移民』書評会	5	月
日	6	火
月	7	水
火	8	木 近現代史ゼミ
水	9	金
木 近現代史ゼミ	10	土 地域史講座
金	11	日
土	12	月
日	13	火 建築史ゼミ
月	14	水 現代史ゼミ
火	15	木
水 現代史ゼミ	16	金
木	17	土 アカデミア
金	18	日
土 アカデミア	19	月
日 アカデミア	20	火
月	21	水
火	22	木 近現代史ゼミ
水	23	金
木 近現代史ゼミ	24	土
金	25	日
土	26	月
日	27	火
月	28	水 現代史ゼミ
火	29	木
水	30	金
	31	土 地域史惣寄合(～6/1)

開所日 開所時間 午前9時～午後5時  
休所日 日曜日、月曜日、祝日、12月29日～1月3日  
休所日